

平成30年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立蓮沼中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・第3学年においては、昨年度の結果を上回る結果であった。
- ・

(2) 課題

- ・家庭学習の定着
- ・
- ・

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	平成30年度結果	平成29年度結果	平成28年度結果
第1学年	目標値と比較し1.1ポイント上回っている結果であった。		
第2学年	目標値と比較し1.0ポイント下回っている結果であった。	目標値と比較し2.6ポイント下回っている結果であった。 (第1学年時)	
第3学年	目標値と比較し0.8ポイント上回っている結果であった。	目標値と比較し1.9ポイント上回っている結果であった。 (第2学年時)	目標値と比較し7.5ポイント下回っている結果であった。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

関心・意欲・態度	思考・表現	技能	知識・理解
校内では、区や全国と比較すると上回っている結果であり、学習意欲は比較的良好である。	区・全国・目標値すべてに対して上回る結果であった。	区・全国・目標値すべてに対して上回る結果であった。	区の平均は上回ったものの、全国・目標値を下回る結果であった。

② 第2学年

関心・意欲・態度	思考・表現	技能	知識・理解
区・全国・目標値すべてに対して下回る結果であった。	目標値は上回ったものの、全国・区の平均を下回る結果であった。	区・全国・目標値すべてに対して下回る結果であった。	区・全国・目標値すべてに対して下回る結果であった。

### ③ 第3学年

関心・意欲・態度	思考・表現	技能	知識・理解
区の平均とほぼ同じであったが、全国平均・目標値と比べると下回っている。	区の平均は上回ったものの、全国・目標値を下回る結果であった。	区・全国・目標値を下回る結果となった。	区・全国・目標値すべてに対して上回る結果であった。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・表現	技能	知識・理解
学習意欲は比較的あるので、基礎や基本的な学習内容の定着を図ることでさらなる向上を目指す。	思考では相対的に良好な結果なので、今後も思考の機会を増やしていく。	技能では相対的に良好な結果なので、観察・実験を通じた学習を行う。	基礎を定着させることが重要であり、学習内容の定着を定期的に確認し、学力向上を図る。

#### (2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・表現	技能	知識・理解
基本的な学習内容の定着を図り、さらなる意欲の向上を目指す。	特に観察・実験を通して、考え、発表する機会を増やしていく。	観察・実験を意欲的に取り組めるよう工夫する。	基本的な語句を中心に毎時間の小テストを通じてさらなる向上を目指す。

#### (3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・表現	技能	知識・理解
基本的な学習内容の定着を図り、さらなる意欲の向上を目指す。	学習した知識を活かして、考えまとめ発表する機会を増やしていく。	観察・実験を意欲的に取り組めるよう工夫する。	復習する機会を多く設け、繰り返し学習することで学習内容の定着を図る。